

未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子の育成



浦安市教育委員会

U RAYASU S TYLE

Vol. **32**
2017.09

浦安市教育情報誌
うらやすスタイル

特集

未来へつなぐ 浦安っ子の学び

ふるさとうらやす立志塾

各中学校の代表生徒が参加する「ふるさとうらやす立志塾」は、21世紀を担うリーダーの育成を目的とし、今年度で7回目を迎えました。境川でのフィールドワークや車椅子バスケットボール選手との交流を通して、地域から世界へ、未来へとつなぐ学びとなっています。



子どもミュージカルワークショップ

浦安音楽ホールで行われた「子どもミュージカルワークショップ」では、小学生から高校生までの参加者が、将来の夢や目標に向かってミュージカルを基礎から学び、ステージで発表会を行いました。

未来へつなぐ浦安っ子の学び

浦安市では「未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子の育成」を基本理念とし、確かな学力（知）、豊かな心（徳）、健やかな体（体）、豊かなかかわり（参画・交流）、郷土愛（誇り）の5つの目指す子ども像の実現に向け、子どもたちの教育に取り組んでいます。今回は、「つなぐ」をキーワードに、学校と地域と家庭が連携してはくむ浦安っ子の学びを紹介します。

学びをつなぐ

義務教育9年間の「学び」と「育ち」をつなぐ 小中連携・一貫教育

中学校区の特徴を生かした小中連携・一貫教育を推進し、就学前から義務教育9年間を見通した教育活動を展開しています。学習内容のつながりを意識したり、発達段階に応じた子どもへのかかわり方について情報を交換したりすることで「学び」と「育ち」のなめらかな接続を図り、子どもたちの進学に対する不安感を軽減しています。

「うらやす幼・保・小・中連携の日」には、幼稚園・認定こども園・保育園・小・中学校の教職員が一堂に会し、各中学校区における連携・一貫教育をさらに進めるために意見交換や研修会を行っています。



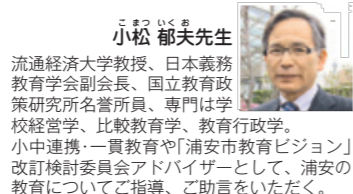
専門家に聞く 教育コラム

「未来へつなぐ子どもたちの学び」 —「知能」的学びから「知性」的学びへ—

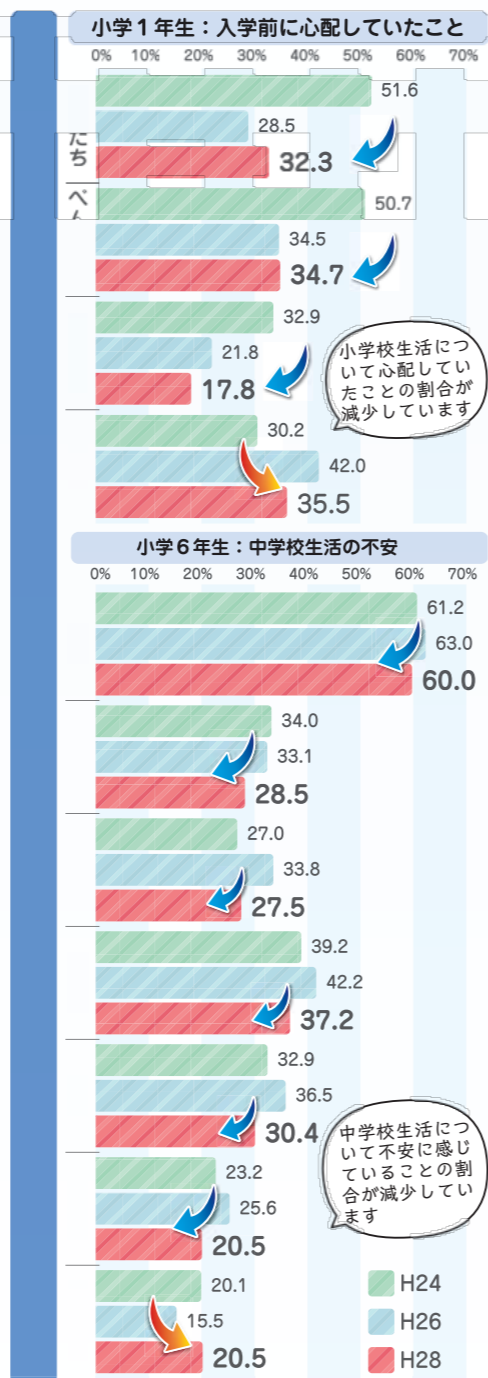
人工知能やロボットの発達で、職場の自動化が進行し、今ある職業が機械に奪われるのではないかと考えられます。未来を自分らしく生きぬくために、子どもたちにどのような学びが重要なのでしょうか。

私はそのヒントを「知能」と「知性」の違いから考えました。知能は人工知能、知能検査など使われますが、人工知能とは言いません。英語では知能も知性もインテリジェンスですが、日本語は区別します。

未来への学びは、もともと答えがある問いに対しての答えを出す能力（知能）ではなく、答えがはっきりしない問いに対して、答えらしき何かを見いだす能力（知性）の涵養が重要ではないでしょうか。知性には、知識の積み重ねである知能が基礎になりますが、さらに共感力という心の部分に関わります。自分らしい学び、共生的学び、創造的学び、品格のある学びをして欲しいものです。



こまつ ゆすやく先生
流通経済大学教授、日本義務教育学会副会長、国立教育政策研究所名誉所員、専門は学校経営学、比較教育学、教育行政学。
小中連携・一貫教育や「浦安市教育ビジョン」改訂検討委員会アドバイザーとして、浦安市教育についてご指導、ご助言をいただく。



幼児教育から小学校へ

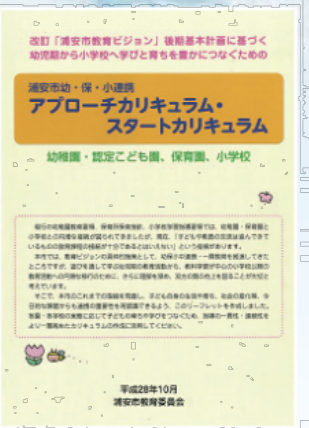
「小1プロブレム」（学校生活への不適応）を解消し、子どもたちが安心して小学校生活に移行できるよう、幼稚園・認定こども園、保育園と小学校の連携を図っています。連携をさらに一歩進め、幼児期から小学校へ、学びと育ちを豊かにつなぐための「浦安市幼・保・小連携アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」を作成しました。

各園・各学校の実態に応じて、指導の一貫性・連続性をより一層高めたカリキュラムを作成し、幼児期の「遊びを通した学び」から、小学校での「教科を中心とした学習」へと円滑に移行できるようにしていきます。

美浜南認定こども園では、園児が小学校のプールで水遊びをします。ボールや浮き輪を使って、のびのびと遊ぶことができました。小学校の施設を使うことで、小学校の施設にも慣れ、親しみを持つことができます。



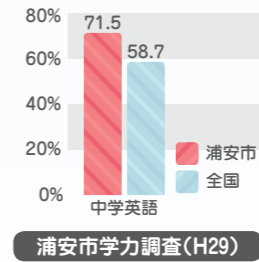
北部認定こども園では、小学校の図書室で学校司書による読み聞かせを行っています。年長児が4月からの学校生活にスムーズに入れるようにしていくための取組の一つです。



小学校から中学校へ

英語教育の充実

新学習指導要領により平成32年度から、小学校3・4年生では年間35時間の「外国語活動」が、そして5・6年生では年間70時間の教科としての「外国語科」が始まります。浦安市ではこれまでもALTを全小・中学校に配置し、小学校1年生から学習を進めていますが、小学校までの学習の成果が中学校教育へ円滑に接続されるよう、様々な取組を行っています。



▶ 英語ボランティア

美浜南小学校では、5・6年生の外国語活動を地域の方による「英語ボランティア」がサポートしています。学級担任、ALTとともに、外国語活動の授業を行いながら、児童の学習支援を行っています。複数の先生で授業を展開することで、外国語学習に難しさを感じている児童は、わからないことをいつでも質問し、解決することができます。



▶ 浦安市中学生英語スピーチコンテスト

今年で36回目となるスピーチコンテストを8月25日にWave101で行いました。参加した生徒は、「暗唱の部」「スピーチの部」「フリースタイルの部」の3つの部門に分かれ、日頃の英語学習の成果を発揮しました。学校、学年を超えた英語による発表を聞くことで、コミュニケーションに必要な表現方法を互いに学び合い高めています。



▶ 浦安市教育委員会・明海大学主催 明日から使える英語の授業講座開催！

次期学習指導要領における外国語活動、外国語科の実施に向けて、今年3月に締結した浦安市教育委員会と明海大学との連携協定の初めての試みとして「明日から使える英語の授業講座」を8月29日に明海大学で開催しました。明海大学の太田裕教授、百瀬美帆教授を講師に迎え、市内小・中学校の先生方が授業で活かせる英語のフレーズ等を中心に、実践的な研修を行いました。



夢をつなぐ

いろんな不思議について考えよう！ —うらやすこども大学—

うらやすこども大学では、6つの大学（明海大学・順天堂大学・了徳寺大学・明治大学・千葉大学・千葉工業大学）の協力を得て、市内の小学校4・5年生を対象に、「たてものの不思議」「ひどの不思議」「昆虫の不思議」等、知的好奇心を揺さぶる特別な授業（全7回）を展開し、未来の浦安を担う子どもたちを育成しています。今年度については、すでに4回目までを終了し、さらに3つの不思議について学習をします。

最終日は、市民プラザWave101にてゲストに講演をしていただき、修了式を行う予定です。今年度のゲストは誰になるのが楽しみです。 ※参加児童の募集は締め切っています



明海大学「たてものの不思議」

参加者の声



長尾 洋幸さん

みんなでチームワークよく、一緒に
お家とか公園とかが出来て楽しかった
です。こども大学を受けて、病院の先
生とか建築家になってみたいと思いま
した。



樋口 理帆さん

みんなで家を作って、屋根をデザインしたり、赤
ちゃんのお世話をしたりして、楽しかった。将来の夢
はアナウンサーになりたいけれど、授業を受けて、建
築家もデザインが楽しそうだから、やってみたく思
いました。

音楽でつながる うらやす管弦楽フェスティバル2017

今年で3回目となるうらやす管弦楽フェスティバル2017が、文化会館で8月11日～13日の3日間開催されました。今年は小学校3年生から高校生まで70人が参加しました。弦楽器を初めて触る子どもたちは短い時間の中で一生懸命練習し、最終日のコンサートでは気持ちのこもった音色を奏でることができました。



日本の文化を受け継ぐ 体験！中学生弓道コース

浦安市総合体育館では、浦安市弓道連盟の方を講師に招き、弓道の経験がない中学生を対象にした体験会を行いました。全5回の講座では、中学生にとってあまり馴染みのないスポーツを基礎からやさしく学び、武道特有の礼儀作法や心構えについても学ぶことができます。

武道特有の雰囲気、はじめは緊張した面持ちでしたが、「はじめてでもわかりやすかった。」「まっすぐ矢が飛んだ時や、的にあたったときはすごくうれしかった。」「弓を引くの力が大変だとわかった。」と、練習を重ねるごとに、弓道の楽しさを感じています。



富岡公民館ランニング広場 ～元オリンピック選手と一緒に走って オリンピックを目指そう～

毎年、6月15日の県民の日に、市内の各生涯学習施設において「うらやすまるごとこども広場」を開催し、たくさんの講座やイベントが行われています。

富岡公民館では、メキシコ・ミュンヘン・モントリオールオリンピックマラソン代表選手として活躍された宇佐美彰朗さんを講師に招き、浦安市運動公園陸上競技場においてランニング教室を開催しました。子どもたちは、低学年と高学年のグループに分かれ、ランニングフォームや体の動かし方を楽しみながら学ぶことができました。



社会へつなぐ

公民館で社会のしくみを実体験

中央公民館事業「うらやす子ども起業塾」と高洲・日の出公民館合同事業「ビジネスキッズ隊」では、起業体験することによりビジネスや地域社会について考える活動を、年間を通じた取組として実施しています。

▶浦安の町を笑顔にする「うらやす子ども起業塾」

「うらやす子ども起業塾」では、「浦安の町を笑顔にするにはどんなことが必要か」をテーマに、会社(店)をつくり、予算の中でお金をやりくりする体験を通して、お金の大切さを学びます。小学校5年生から中学校3年生を対象に、平成26年度から活動を開始し、現在4期生15名が参加しています。起業塾の先輩も活動に参加し、後輩をサポートします。地域でのインタビューで集めた声を参考に、「体験型雑貨屋」や「お母さんやお父さんがゆっくりできるパンケーキ屋」にお店を決定し、10月の出店を目指して準備を進めています。



お店の方から、運営の仕方を学びました

▶ぼくたち、わたしたちの会社をつくろう「ビジネスキッズ隊」

「ビジネスキッズ隊」は、小学校3年生から6年生を対象に、「自ら考え、自ら創り、自ら稼ぐ」という経験を通して、会社経営や経済の仕組みについて学びます。6月には、日本証券業協会の方を講師に招き「チャレンジ！お菓子の株式会社」を実施し、お菓子のパッケージを作りながら株式会社の仕組みを学びました。夏休みには「明海の丘夏祭り」に出店し、イベントの企画・運営を行いました。子どもたちは、学年や学区の異なる仲間と活動することで、ふだんと違う一面を発見したり、地域のつながりを意識したりすることができました。現在は、高洲公民館と日の出公民館で行う秋のイベントに向けて、準備を進めています。



割りばし鉄砲で行う射的をレクチャー

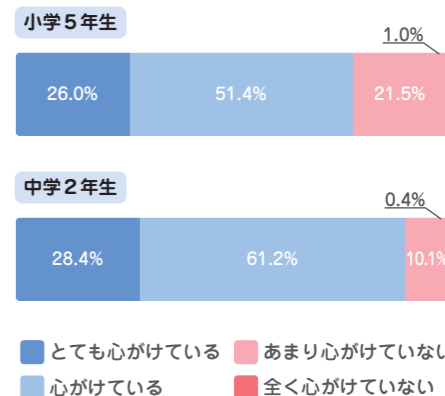
未来へ命をつなぐ ふれあい体験～赤ちゃんとおそぼう～

東野児童センターでは、市内在住の小中学生や高校生を対象に、夏休みの特別企画として「ふれあい体験」を実施しました。

助産師や保育士から妊娠・出産・子育てについて話を聞き、実際に赤ちゃんとおふれあうことで、「お母さんは大変なことを乗り越えて自分を産んでくれたことがわかった。」「赤ちゃんは本当に小さくて、生きていることはすごいことだと思った。」と、命の大切さや重みを感じる時間になりました。



H29 浦安市教育に関する意識調査（保護者） 将来や進路についての話をする



ふるさとをつなぐ

ふるさとうらやすから21世紀のリーダーを養う -ふるさとうらやす立志塾-

市内9中学校から27名のメンバーが集い、平成29年度の「ふるさとうらやす立志塾」が開塾しました。今年度で7年目となる今回は、地域を知り、学校や地域での活動を通して、志をもったリーダーとしての実践力を身につけます。

8月4・5日にはうら・らめ〜で宿泊研修を行い、内田市長をはじめ、さまざまな団体で活躍されている方々から、「リーダー」「郷土愛」についての知識と経験を学びました。また、元町から境川沿いを歩きながら浦安の歴史に触れ、境川をEボート（10人乗りゴムボート）で上るフィールドワークや、車椅子バスケットボール選手との交流などをおして、リーダーシップや郷土愛、実践力を高めています。

塾生達が研修で学んだ内容の実践の場として、10月15日に境川のツアーガイドを行います。

塾生の感想

- 物事をはっきりと決めつけるのではなく、「なんでだろう」「どうして」という考えを持ち、思考ツールを広げていきたいと思いました。
- 浦安について書ききれないほどたくさん学ぶことができましたが、総じていえるのはあらゆるところに「工夫」があふれているということです。昔の人の知恵はすごいなと思いました。
- 浦安って結構面白いんだなと思いました。ガイドさんが話すことは知らないことが多く、さらにそれが身近な所に多くありました。とてもわかりやすかったので、自分もこんな風に浦安を紹介したいと思いました。



浦安の今と昔をつなぐ 博物館宿泊体験

郷土博物館では、博物館屋外展示場にある文化財住宅で、昔の生活を体験しながら学ぶ「博物館宿泊体験」を夏休みに実施しました。

宿泊体験には小学校4年生から6年生の13名が参加し、郷土料理作りなどを体験したあと、蚊帳を取り付けた部屋で就寝しました。参加した児童からは「かまどでお米を炊くのは、たいへん!」「みんなで作った夕食はおいしい!」「こんなに朝早くから市場が開いているなんて、びっくり!」と、昔の暮らしを体験することで、ふるさと浦安を感じる貴重な時間となりました。



かまどを使って夕食づくり



午前5時30分に起床して魚市場に行きました



大潟村の農業についてお話を伺いました

秋田県大潟村と浦安市をつなぐ 子ども交流事業

「埋め立て」「干拓」といった「まち」の成り立ちが浦安市と似ている秋田県大潟村との交流会が8月に行われました。今年度は小学校5年生14名が参加し、大潟小学校5年生との交流や、農業体験を行いました。

また、大潟村のみなさんに浦安市のことを知ってもらおうと、グループに分かれ準備した資料をもとに発表会を行いました。子どもたちは浦安市と大潟村のつながりを感じることができました。10月には、大潟村の児童を浦安市に受け入れ、さらに交流を深めていきます。

調査から見える

浦安っ子の



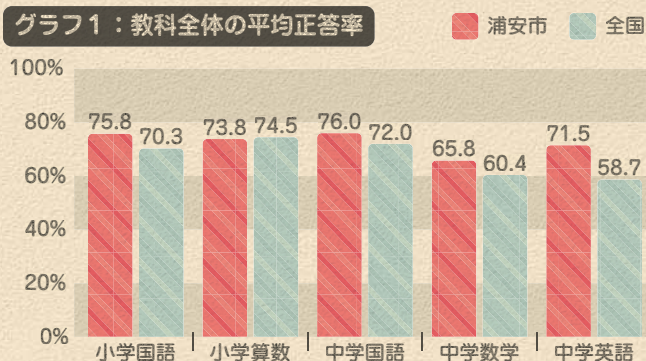
浦安市では、毎年小学校4年生と中学校2年生を対象に、市独自の学力調査を実施しています。本調査は実施した学年だけでなく、学校全体での学力向上を目的としており、調査結果から、今の浦安の子どもたちの学習や生活の様子が見えてきます。

結果をイメージして予想することの大切さ —— 成果と課題 ——

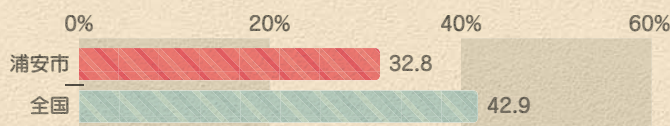
6月に行った本年度の浦安市学力調査では、どの教科も全国平均と同程度、または上回る結果となっています。特に、小学校の国語と中学校の数学では全国平均を5ポイント以上、中学校英語では12ポイント以上上回り、たいへん良好な結果となっています。(グラフ1)

本年度は小学校4年生の算数「図形」に課題が見られました。「2つ折りの紙から正三角形ができる切り方を考える」問題では、正答率が3分の1を下回り、全国平均より10ポイント以上低くなっています。(グラフ2) 具体物を操作して予想を確かめる活動や、図画工作等、図形に関連する他の学習も大切になってきます。

グラフ1：教科全体の平均正答率



グラフ2：2つ折りの紙から正三角形を切り取る方法 (正答率)



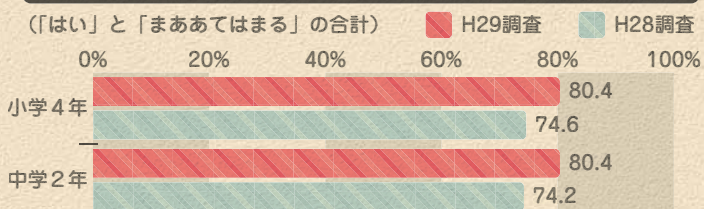
発表・話し合いに熱心な浦安っ子 —— 質問紙調査から ——

平成30年度から教科により段階的に実施される次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の充実が図られます。

「授業で自分の考えを発表する機会が与えられていたか」「授業では友達・生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思うか」の質問では、「はい」「まああてはまる」の合計は、28年度調査を大きく上回り、小学校・中学校とも80%を超えています。(グラフ3・4)

浦安の子どもたちは、積極的に自分の考えを発表し、話し合い活動に取り組むことによって、学習を深め合っています。

グラフ3：授業で自分の考えを発表する機会が与えられていた



グラフ4：授業では友達(生徒)の間で話し合う活動をよく行っていたと思う



子どもミュージカルワークショップ 2017

浦安音楽ホールでは、7月28日～30日の3日間、子どもミュージカルワークショップを行いました。小学校4年生から高校1年生までの元気溢れる13名が参加し、昭和音楽大学の横山由和教授（演出）、萩原かおり教授（声楽）、祝利美杏講師（振付）、酒主明希音講師（ピアノ）の講師4名に指導をしていただきました。

歌の練習では、ディズニー映画「ピーターパン」から2曲を歌い、生き生きとした明るい歌声を披露。ダンスでは、「振りが難しい！」と言っていた子どもたちですが、自主的に練習を行い、教え合う場面を見ることができました。

3日目のミニステージでは、子どもたちと演出家の先生で作り上げたお芝居のエチュードも加わり、子どもたちは花の種になったり、うさぎになったりと様々なものに大変身！会場を沸かせました。浦安音楽ホールでは、今後も子どもが主役になれるワークショップなどを展開していきたいと思えます。

参加者の声



田村そらさん

歌うのも、踊るのも全部楽しかったです。



宝桃子さん

演技と歌が楽しかった。踊りは難しかったけれど、練習してできた時の達成感がよかったです。



澤井美波さん

歌う時の発音の仕方を教えてもらって、いい声が出るようになりました。



高谷勇大さん

新しい友だちができて、楽しかったです。先生の教え方も上手で、自分の得意なダンスができてよかったです。



渡邊千春さん

練習はハードだったけれど、お客さんが笑ってくれたから、達成感があるし、私もうれしかった。



ひとりで悩まないで！

相談窓口のご案内

子どものこと、学校のこと、進路のことお気軽にご相談ください ※祝日は休み

| 相談名 | 相談内容 | 対象 | 相談日と期間 | 相談場所と電話番号 |
|---------|--|--------------------|-------------------------------|---|
| 子育て | 子育てに関する相談 | 0歳～就学前児とその保護者 | 月～金曜日 9:00～16:00 | ①子育て相談室（集合事務所3階） ☎306-3715 ②子育て相談窓口（市役所2階） ※面談のみ |
| 就学相談 | 特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談 園・学校生活、通教指導教室の利用に関する相談 | 園児・小・中学生とその保護者 | 月～金曜日 9:00～17:00 | ①教育研究センター まなびサポート担当（富岡小学校内）☎381-7961 ②まなびサポート相談室（見明川中学校内）☎390-5204 |
| 学校生活 | 学習、進路、問題行動など学校生活に関する相談 | 小・中学生とその保護者 | 月～金曜日 9:00～17:00 | 指導課（市役所7階） ☎712-6775 |
| 教育相談 | 不登校や子どもの友人関係、性格・行動等に関する相談 | 小・中学生とその保護者 | 月～金曜日 10:00～17:00 | 適応指導教室 猫実2-1-1 ☎351-1151 |
| いじめ110番 | いじめに関する相談 | 小・中学生とその保護者 | 月～金曜日 9:00～17:00 | 電話相談のみ 相談専用☎0120-211-380 |
| 青少年 | 問題行動、家庭生活など青少年に関する相談 | 20歳未満の青少年 | 月～金曜日 10:00～正午・13:00～16:00 | 青少年センター（市役所7階） 相談専用☎351-1152 |
| 生涯学習相談 | 学びたいこと、習いたいことなどの相談 | 一般 | 月～金曜日 9:00～17:00 | 生涯学習課（市役所7階） ☎712-6792 |
| こども発達相談 | 心身の発達に心配のある子どもについての相談・指導・訓練等の相談 | 0歳～18歳までの子どもとその保護者 | 月～金曜日 9:00～17:00 | こども発達センター（総合福祉センター内） ☎355-5242 |

各小中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談（友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校および登校しぶり等）に応じています。

教育情報誌



発行／浦安市教育委員会 浦安市猫実1-1-1 TEL:047-712-6732 企画・編集／教育政策課

豊かに生きる浦安っ子の育成のためには、わたしたち大人（学校・家庭・地域・行政）が手を携え、社会全体で子どもたちの豊かな学びやかかわりを支えていくことが大切です。教育情報誌「うらやすスタイル」は、子育て・教育について、みんなで考え実践していくために、学校教育をはじめ、生涯学習の取組、地域と子どものかかわりなどの教育情報を発信していきます。